

# 制御部門審判マニュアル（修正版）

一試合5分予定です。制御が一番時間がかかる予定です。効率よく進めてください。  
次のチームも、必ず待機場所に待たせて、スムーズな進行に協力してもらいましょう。

## 0. 記録用紙準備(済)

・プログラムを参考に、コート名・試技回等・番号・都県名・チーム名を記入しておく。

## 1. 選手集合

- ・チーム名の確認→本部より配布された名札を長机に添付
- ・持参コートの準備と審判確認
- ・審判によるアイテムの個数と形状確認
- ・タイマー20秒にセット

## 2. 競技開始挨拶

- ・選手はスタート側に整列して、審判に挨拶
- ・「これより、(チーム名)の試技〇回目を行います。礼。」

## 3. セッティング

- ・「セッティングを始めます。20秒以内で撒けなかったアイテムはロストアイテムとなります。ゴールエリアやスタートエリアに入ったアイテムは、チームのメンバーで拾って、容器に入れて、撒き直してください。審判が膝の高さで、素早く1回で撒けていないという判断をした場合は、やり直しを指示します。」
- ・「セッティング、スタート。」(タイマーで計測、20秒後ブザーで終了。)
- ・ロストアイテムは、ざるに入れて長机へ撤収。
- ・セッティング終了後、ロボットの位置、アイテムの位置を確認する。
- ・スタートの線に触れているものは、ロストアイテムとする。
- ・タイマーを90秒にセット。
- ・競技者(2名まで)以外は、操作エリア外へ誘導。

## 4. ボーナススポット決め

- ・「ボーナススポットを決めるので、1回目のサイコロを振ってください。」
- ・「2回目のサイコロを振ってください。」
- ・審判は、サイコロにしたがって、ボーナススポットに黒色覆いをつける。
- ・スポットは、スタート側から見て左から数える。

## 5. 競技開始

- ・「スタート。」(タイマー動作開始)
- ・選手「リトライ」→審判「ピットイン」
- ・選手「再スタート」→審判「再スタート」

- ・審判のコール前に、ロボットに触れた場合はファール(警告)とする。その場合は5点減点する。2回行くと失格(-30点計算)
- ・ファール(警告)があった場合は、再スタートを指示する。
- ・アイテムが全てなくなった場合は、「リトライ」を申告して、ロボットをスタート位置に戻して、取り込んだアイテムを撒くことができる。
- ・上記の際に、ゴールエリアに入ったアイテムを確認して、記録用紙に記入、競技終了後取り除いて計算する。

## 6. 得点計算

- ・複数の審判でゴール状態を確認して、記録用紙に記入する。
- ・記録用紙下の判定基準の枠内も記入する。
- ・記入後、選手が確認→チーム名を記入、その後主任審判のサイン記入。本部提出。
- ・代表選手確認中に、コート、アイテムの片付けを指示する。

## 7. 競技終了

- ・スタート側にチーム全員整列し挨拶。
- ・「以上で、(チーム名)の試技〇回目(または決勝)を終わります。礼。」

決勝試技は10試合あります。6コートで行いますが、審判はローテーションでお願いします。

第1試技、第5試技、第9試技	5コート審判団
第2試技、第6試技、第10試技	6コート審判団
第3試技、第7試技	7コート審判団
第4試技 第8試技	8コート審判団